



洗ってもヨレない！伸びない！洗濯機フル活用マニュアル

2019年03月13日放送



今回の番組について

「部屋干し臭」「黄ばみ」に続く洗濯シリーズ第3弾！今回は毎日の洗濯で伸び伸び、ヨレヨレになった衣服を、まるで新品みたいに戻す技。それは多くの家庭にある柔軟剤の使い方を、ほんの少し変えるだけ。おきに入りの洋服はもちろん、襟やすそが伸びたTシャツだってビシッと復活できちゃいます！さらに洗濯機にも知られざるパワーが！実は洗濯機に入れる洗濯物の量に気をつけさえすれば、「汚れが落ちない」「衣類が傷む」という2つのお悩みがグッと減る！すぐに役立つ洗濯ワザ、おためしてください！



今回のお役立ち情報

衣類の傷みは繊維の偏りが原因！

「洗濯を繰り返すと、どんどん服が傷んでいく」。洗濯に対して、そんな印象をお持ちの方も多はず。実は衣類のダメージ（ヨレや伸び）は、着用→洗濯を繰り返すうちに、衣類の繊維が「偏って」しまうことが大きな原因。でもそのダメージは、洗濯機の使い方しだいで、グッと減らすことができます。

実は現在販売されている多くの洗濯機には、このダメージを最低限に抑える機能が付いています。それは洗濯中、洗濯槽の中で衣類が「上下に入れ代わる」機能。洗濯槽の底にある回転盤の近くにある衣類は、汚れがよく落ちる一方、摩擦で傷みやすくなります。そこで洗濯槽の中で衣類を上下に循環させること

で、傷みを減らすのです。

ところがここで肝心なのが、「洗濯物の量」。洗濯槽に入れる衣類の量が多すぎたり、少なすぎたりすると、このダメージ防止の機能がほとんど使えなくなるのです。では一体どれくらいが適量なのでしょう？

ふだんの洗濯でヨレや伸びを減らすワザ

今回、番組の実験で見いだしたその最適量は洗濯槽の容積の5～7割。取材した洗濯機メーカー2社も、6～7割をおすすめしていました。

洗濯物の量のめやす

- ・縦型洗濯機の場合

洗濯槽のへりから10～15センチ下の高さまで入れると、およそ7割になります。

へりに親指を当て、そこから小指を伸ばしたくらいの高さです。

- ・ドラム式洗濯機の場合

ドラムを真横から見て、5～7割程度であればOK。

傷んだ衣類を復活させるワザ

古着屋さんが実践し、専門家もおすすめ。ヨレヨレ、伸び伸びになった衣類を復活させる方法をお伝えします。

用意する物

- 柔軟剤 キヤップ1杯
- 水 10L

1. 10Lの水におよそキヤップ1杯分の柔軟剤を溶かす。
2. 洗濯後の衣類を浸し、繊維の奥にまで浸透するよう30秒程度もみこむ。
(手袋を使って行ってください)
3. 伸びた部分は、伸びた方向から90度の方向に引っ張って形を整える。
4. 軽くたたんで、洗濯機で脱水。(すすぎは行いません)
5. 形を整えて乾かす。

※この方法は毎回の洗濯でおすすめするものではありません。1月に1回程度か、ヨレが気になってきたときにだけ行ってください。また繊維によっては柔軟剤が使えないものもありますので、衣類や柔軟剤の製品表示を必ず確認してから行ってください。

※この方法で、衣類が完全に元通りになるわけではありません。

※皮膚への影響や柔軟剤の香りが気になる方は、柔軟剤での処理を行ったあと、いったん乾かしてから、もう一度洗濯を行ってください。また香りだけを気にする方は、無香料の柔軟剤も販売されていますので、そちらもご検討ください。



Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved.
許可なく転載することを禁じます。